

題材名「じどう車くらべ」

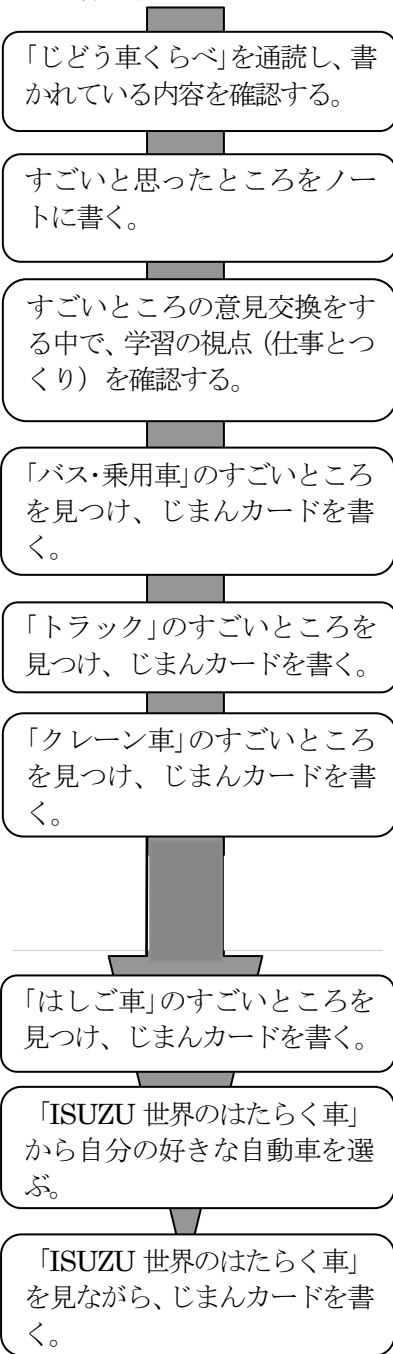
■ 目標

- ・ 「仕事」と「つくり」を関係づけて自動車の特徴を捉え、説明する文章を書くことができる。
- ・ 「仕事」と「つくり」の観点で、自動車どうしを対比して捉えることができる。

■ コンピュータを活用する利点

コンピュータを利用することで、本を探すという時間の短縮を行うことができる。また、動画になることから、それぞれの自動車の特徴や仕事を視覚的にも捉えやすくなり、字を読むことが苦手な児童にとっても、意欲的に活動できる。

■ 授業の流れ



■ ICT 活用場面

発展学習として、ICT を活用して、じまんカードを作成する。コンピュータの操作に慣れるために、1 時間は、使い方の練習をした。そして、2 時間目に、それぞれが自慢したい自動車を選び、じまんカードを書くようにした。

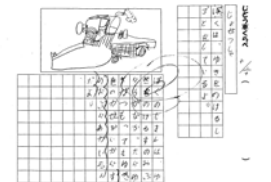
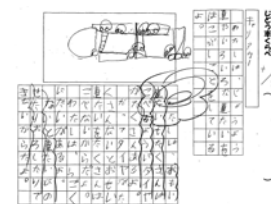
まず、PC ルームにおいて、自分が自慢したい自動車を見つける。その際には、児童が操作しやすいように、一つのソフトから自動車を選べるようにする。次に、選んだ自動車の説明を読んだり動画を見たりしながら、自動車の「仕事」や「つくり」を理解する。最後に、その自動車になりきって、じまんカードを書く。この時、今まで書いてきたカードを使用させることで、自動車の「仕事」と「つくり」を意識して書くようにした。そして、できた児童には、何枚書いてもいいことを知らせ、意欲的に活動できるようにした。



■ 成果と課題

ICT を活用することで、児童は、意欲的にじまんカードを作成した。書くことが苦手な児童も画面で自動車が動くことに興味を示し、苦手ながらもカードを作ることができた。マウスを動かすだけなので、慣れてくると児童同士で教え合い授業を進めていた。そのため、休み時間にもやりたいという残る児童がたくさんいた。

課題としては、児童が作成したカードを ICT を活用して見せ合う時間が設けられなかったことである。お互いの作品を見合うことで、同じ自動車でも書きぶりが違うなどの表現方法を見直すことができたと考える。



■ ICT 活用環境

使用周辺機器	パソコン 32 台、プロジェクタ
使用ソフト	ISUZU 世界のはたらく車
使用教室	コンピュータ教室